

検査体制整備計画の変更点

	旧計画（令和3年11月）	新計画（令和4年4月）
検査需要見込みの考え方	▷ 第5波における最大新規陽性者数（7日間平均4,923人）をベースに算出(陽性率10%で割り戻し) ▷ インフルエンザ流行を想定した検査需要を加算	▷ 過去の検査実績最大値（令和4年1月24日の約4.7万件）等をベースに算出 ▷ PCR等検査無料化事業の需要も見込む ※インフルエンザ流行による需要は見込まない
検査需要	検査需要最大 約8.8万件/日 独自検査 約1.7万 インフル流行に伴う検査需要 約1.3万 行政検査 約5.8万	検査需要最大 約20.8万件/日 無料検査 約3.0万 独自検査 約9.1万 行政検査 約8.7万 新たに無料検査の需要を追加
検査体制	検査体制最大 約10.0万件/日 行政検査 + 独自検査 約10.0万	検査体制最大 約29.0万件/日 無料検査 約5.0万 行政検査 + 独自検査 約24.0万 無症状の濃厚接触者には抗原簡易キットを配布
需要に対する体制	検査需要：約8.8万件/日 < 検査体制：約10.0万件/日	行政検査・独自検査需要：約17.8万件/日 < 検査体制：約24.0万件/日 無料検査の需要：約3.0万件/日 < 検査体制：約5.0万件/日 ※ 需要上振れ分にも対応可能な検査体制を確保